


整理番号	HT26241	分野	医歯薬学	(キーワード)1-コンパートメントモデル
------	---------	----	------	----------------------

徳島文理大学

【薬を飲んだ時と注射をした時の体の中を流れる血液中の薬の動きの違いを捉えてみよう！】

先生(代表者)	加藤 善久(かとう よしひさ) 香川薬学部・教授			
自己紹介	専門は薬物動態学です。薬物の体内動態と薬効・毒性発現メカニズムの解明に関する研究に取り組んでいます。薬を服用した時の体内の薬物濃度推移と薬効や副作用の発現を関連させて、有効性や安全性の科学的な根拠に基づく創薬、育薬および最適な薬物療法の構築に関する薬学的思考力や問題解決能力を学び、それらを医療の場で生かせる薬剤師の育成を目指しています。			
開催日時・主な募集対象	平成26年8月3日(日)	(対象)	高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	徳島文理大学 20号館香川薬学部研究棟 1階ロビー		(集合時間)	9時30分
開催会場(集合場所)	徳島文理大学香川薬学部 住所: 〒769-2193 香川県さぬき市志度 1314-1 アクセスマップ: http://kp.bunri-u.ac.jp/access/index.html キャンパスマップ: http://www.bunri-u.ac.jp/about/campus-map/kagawa.html			
内 容				
<p>薬を飲んだ時と注射をした時では、私たちの体を循環する血液中の薬の動きは異なります。このプログラムでは、体の中を流れる血液中の薬の動きを2つのビーカーをつなげた流水実験で再現してみます。ビーカー中の薬の濃度を経過時間ごとに測定し、コンピューターで計算してみます。薬を飲んだ時と注射をした時の体の中の薬の動きの違いがはっきり見えてきます。私たちの体の中の薬の出入りのようすを知って驚かされますよ。</p> <p>予備知識はなくても大丈夫です。実験の際には、教員と大学生がやさしく寄り添いながら、丁寧に実験を指導します。薬学、薬剤師、健康、医療などに興味のある高校生にお勧めです。昼食やクッキータイムでは、大学の先生や大学生と研究の楽しさや大学での生活について、おもしろい話が聞けます。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
9:15~9:30	受付(徳島文理大学 20号館香川薬学部研究棟1階ロビー)		筆記用具、定規、電卓	
9:30~9:45	事前アンケート記入、名札、白衣等の配布			
9:45~10:05	開講式(挨拶、日程説明、科研費の説明)			
10:05~10:35	講義「1-コンパートメントモデル-最も簡単なモデル」		特 記 事 項	

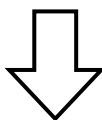
10:35～11:05	実験のやり方および器具の使い方の説明 講師:加藤 善久	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等の同伴も歓迎いたします。 ・実験にあたり、白衣を準備いたします。白衣はお土産としてお持ち帰りになれます。 ・参加者の昼食は当方で用意いたします。(保護者等が同伴される場合は、事前にお申し出があれば、実費にて同じ昼食をご準備いたします。ご持参されても結構です。)
11:05～11:15	休憩、移動	
11:15～12:00	昼食(参加者と本学の教員および大学生との懇親)	
12:00～12:10	実験室へ移動	
12:10～14:40	実習「1-コンパートメントモデルについての in vitro 実験」(途中休憩有)	
14:40～14:50	会議室へ移動	
14:50～15:20	クッキータイム(お茶とお菓子を用意します。参加者と本学の学生と当日の実験について語り合い)	
15:20～15:30	PC ルームへ移動	
15:30～16:30	データの解析、まとめの考察と討論	
16:30～17:00	研究室、中央機器室および調剤実習室の見学	
17:00～17:30	修了式(事後アンケート記入、 未来博士号授与! 、質問タイム、記念撮影)	
17:30	終了、解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	徳島文理大学香川薬学部・跡部 一孝(あとべ かずたか)
住 所 :	〒769-2193 香川県さぬき市志度 1314-1
TEL 番号 :	087-899-7485
FAX 番号 :	087-894-0181
E - m a i l :	k-atobe@kph.bunri-u.ac.jp
申込締切日 :	平成26年7月21日(月)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
加藤 善久	H23-25	基盤研究(C)	23510083	PCBによるヒト甲状腺ホルモン攪乱作用発現メカニズムの解明を目指した包括的研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。